

# 一般質問

## 周防大島高校再編整備計画について

吉田 芳 春 議員

**問** 少子化と中学卒業生の減少に伴い、安下庄と久賀の両高校を統廃合し、平成19年度に周防大島高校が誕生したが、毎年大幅な定員割れが続いている。



県教委の高校再編整備計画では、入学者が減少し一学年2学級に満たない高校は、分校化あるいは廃校にすると明示されている。

両校舎に分散されている安下庄校舎の普通科を久賀校舎に移し、一刻も早く一元化し、高校教育の充実・発展を願っている。

久賀校舎には、福祉科、普通科の空き教室、

野球場、野球部の寮そして女子寮もあるので、最小の経費でスムーズに集約できると思う。



なぜ安下庄校舎でなければいけないのか、久賀校舎ではだめなのか、町民の皆さんにわかりやすく説明して頂きたい。

椎木町長・西川教育長のご英断により、周防大島高校再編計画の一部変更を知事部局や県教委に重点要望をお願いする。

**答** 慎重に対処したいと考えている。

他に、シルバー人材センターの設立と行・財政改革に取り組む決意を尋ねた。

## 臨時会における執行部答弁及び入札後の再苦情申立書について

平川 敏 郎 議員

**問** 8月6日臨時会で平成24年度東和中学校屋内運動場耐震改修工事の共通仮設率、現場管理費率に格差があると質問した。答弁は県、積算基準であり同一であった。内容についても相違ないとのことであった。



入札後の再苦情申立書回答は、平成23年度版国交省公共建築工事共通費積算基準による積算であった。公文書開示後において今後問題が生じると考えるが、再苦情申立書について見解を問う。

**答** 諸経費率については、設計書等を精査し

たが、適正なものと思っている。この中のその他工事については、内容が異なる表記があり不適切な表記であったと思う。苦情申立書を受け設計コンサルタントによっては、その他工事解釈に違いがあり、諸経費に違いが生じることが判明した。今後は建築工事における諸経費計算表等の統一をし、積算基準については山口県建築工事積算等取扱要領に基づき積算するが、可能な限り設計条件を明示するなど誤解を招かないような、仕様書の作成を考えている。

